

令和4年度
赤穂市立赤穂中学校
「学校だより」

荒神台

NO.102

令和4年6月14日発行
文責 校長（猪谷 和寛）

命を大切にし、精一杯生きる

浜までは海女も蓑着る
時雨かな

これは、江戸時代に現在の加古川市に生まれた滝瓢水という人が作った俳句です。

「海女」とは、海にもぐって貝や海草などをとる女性のことです。「蓑」は昔の雨具です。「時雨」は秋から冬の初めの頃に、一時的に降ったり止んだりする雨です。

この俳句の意味は、「これから海にもぐって仕事をする海女が、雨をさけるために蓑を着て浜に向かっている」です。

どうせ海にもぐれば海水で全身ぬれてしまうのですが、仕事場である浜に着くまでは、雨にぬれて身体が冷えて体調をくずさないように、そして、海にもぐって仕事出来るように、蓑を着て気をつけているのです。



一方、私たちの周りには、こんなことを言う人がいます。

「掃除をしても、どうせ、すぐ汚れるのだから、掃除をしてもしなくてもいいじゃないか」

「頭を下げてあいさつしても、どうせ、相手はこちらを見ていないのだから、適当にすればいいんじゃないか」

「自分が時間を守っても、どうせ、全員そろっていないのだから、自分も遅れてもかまわない」

この「どうせ～だから意味がない」「どうせ～だからしなくても同じ」という考え方の行き着く先は、「どうせ人間はいつか・・・だから」ということになってしまいます。

中学生の皆さんは、命を大切にし、どんなことにも最善の努力をする生き方をしてほしいと思います。それが自分の夢や希望を実現し、一度しかない自分の人生を豊かに生きる大きな力になっていきます。

HAP(ひょうご冒険教育体験活動)の様子(1年生)



ニトロ
クロッシング
(スイングロープを使って乗り移る)



ジャイアント
シーソー
(グループ全員でバランスを取る)



手つなぎ
トラバース
(ワイヤーの上を移動していく)

5月19日に嬉野台生涯教育センターでHAP体験をしてきました。体験の中でみんなと頑張ったこと心がけたことを紹介します。

- みんなが楽しめるように、自分はどう行動すればいいのか考えた
- みんなと意見を出し合って工夫すること
- 自分から行動すること
- 全員で課題を達成すること
- 自分の考えを伝えること

一生懸命声を掛け合っている姿が印象的でした。学校でも協力し合って頑張ってください。

修学旅行の様子

6月2日～4日に北九州方面へ修学旅行に行ってきました。感染対策を取りながらでしたが、3年ぶりに遠方に行くことができました。



1日目 ハウステンボス

2日目 午前
原爆資料館
平和公園

午後
長崎市
班別行動



出島
にて

夕食の
様子



満腹で
テソソ
アッ



3日目
有田ポーセリン
パーク
(絵付け体験)

太宰府
天満宮にて



集団として成長できた3日間でした。保護者や地域のみなさんのご協力のおかげで、いい修学旅行になりました。有り難うございました。

2年生集団行動コンテスト

5月25日に集団行動コンテストを行いました。



2年1組

2年2組



2年3組

どのクラスも真剣に取り組んでいました。集団としてのレベルが更に上がっていく予感がします。これからの挑戦に期待しています。

